

8月1～16日
昔懐かしい露店やアイヌの古式舞踊などでにぎわう
湯のまち川湯源泉まつり



湯のまち川湯源泉まつり(同実行委員会(岩崎義人実行委員長)主催)が8月1日～16日、川湯の湯の川園地で開催されました。観光客の皆さんなどに田舎の夜祭りの雰囲気を楽しんでもらおうと、毎年行われています。足湯を目指してきた観光客や地元の家族連れなどが、射的や綿あめ、ストラックアウトなどの露店に立ち寄り、例年以上のにぎわいを見せました。また、特設ステージで行われるアイヌ古式舞踊も人気を集めました。

7月29日
今年も上出来です
摩周メロン豊穡祭



摩周メロン生産組合(窪内繁義組合長)の「豊穡祭」が7月29日、町農産物集出荷センターで行われました。豊穡祭では、豊島洋樹摩周湖農協参事と藤原将男弟子屈郵便局長、吉備津副町長がメロンカットを行い、摩周メロンの出荷を祝いました。摩周メロンは同組合の8戸の農家が生産。同センターと摩周湖農協、道の駅「摩周温泉」、郵便局の「ふるさと小包」だけの取り扱いで、市場にはほとんど出回らないため、幻のメロンとも言われています。例年並みに玉ぞろい、糖度ともに良い出来で、約2万玉の出荷を予定しています。

7月20日～8月31日
北海道らしさいっぱいの体験コーナー
川湯エコミュージアムセンターで夏休み特別企画



川湯エコミュージアムセンターで7月20日～8月31日、夏休み特別企画「The Summer Vacation 2013」が行われ、家族連れなどでにぎわいました。折り紙を使って道内にいる野生動物を作るコーナー、アイヌ文様の切り絵を体験できるコーナーでは、2つ3つと挑戦する姿が多く見られました。クラフトコーナーには木の枝で写真立てを作るキットが用意され、マツボックリのフクロウで飾りつけをするなど、個性あふれる作品が次々と出来上がりました。子どもたちは「夏休みの工作にする」と満足げな笑顔を浮かべていました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

8月7日
家族そろって初めての里帰り
故横綱大鵬のご家族が役場を表敬訪問



今年1月に逝去した本町の名誉町民第1号の第48代横綱 大鵬こと故納谷幸喜さんの芳子夫人ほかご家族が8月7日、役場を表敬訪問されました。プライベートでの北海道旅行中に立ち寄ったもので、納谷さんのお子さんやお孫さんも一緒に来町は初めての事です。6日には納谷家のお墓参りをして大鵬相撲記念館を訪問、7日には摩周湖と道の駅「摩周温泉」を訪れました。その後は、網走市と旭川市を巡って9日に北海道を後にしました。いつもとは一味違った思い出になったようです。

8月2日
釧路川ってきれいな川なんだね
弟中生が釧路川水生生物による水質調査



弟子屈・標茶の両中学生が8月2日、釧路川の鋸別樋門近くで水生生物による水質調査を行いました。釧路開発建設部釧路河川事務所が1984年から行っているもの。河川の水質を定期的に点検し、データを蓄積するとともに、地域の中学生に環境保全に関する意識を高めてもらうことが目的です。両中学校から2人が参加し、簡易水質試験用具による水質調査、川の生物の捕獲と観察による川のきれいさの判定、投網を使っての魚類の調査などに挑戦。釧路川の水のきれいさを再確認していました。

7月25日
平和の尊さを忘れない
戦没者追悼式で誓いを新たに



弟子屈町戦没者追悼式が7月25日、町社会老人福祉センターで行われ、遺族や関係者など約50人の参列者が黙とうをささげました。徳永町長は「戦争について語られることも少なくなり、平和の尊さが忘れられようとしている今日、遺族の皆さまと共に追悼式を挙げることは誠に意義深い」と式辞を述べました。その後、参列者一人一人が献花し、平和への誓いを新たにしました。

7月23日
皆さんが歩きやすい登山道に
摩周岳登山道でササ刈り



川湯エコミュージアムセンターを運営している屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会(会長・徳永町長)を中心とした関係機関の皆さんが7月23日、摩周岳登山道のササ刈りを行いました。片道約7.2キロの登山道は、ササが伸びると道に覆いかぶさってしまうので、毎年2回、刈り取りを行っています。この日は今年の1回目で、27人が参加。作業は4グループに分かれて行われました。先頭の人が機械で刈り、後続の人たちが刈られたササを熊手で払っていき、4時間ほどで歩きやすい登山道になりました。次回は9月に行われる予定です。

8月19日
安全にお祭りを楽しんでもらうために
弟子屈神社祭りの露店を緊急点検



弟子屈消防署(西川進署長)では8月19日、同月15日に京都府福知山市の花火大会で起こった屋台火災を受け、緊急に弟子屈神社祭りの露店の立ち入り検査を行いました。京都の火災が発電機にガソリンを給油した際に発生したものであることから、ガソリンなどの取り扱いやガス機器の適正な使用方法など、防火対策の強化を指導しました。検査の結果、設置されていた消火器の使用期限切れや安全栓が抜けていたなどについて、早急に改善を求めました。

8月中旬
夏の人気観光スポット
皆さんの目を楽しませたヒマワリ



夏の風物詩となっている屈斜路地区と旧弟子屈飛行場跡地のヒマワリが8月中旬に満開となり、下旬までたくさんの方の目を楽しませました。屈斜路地区は屈斜路パークゴルフ場近くの農地約5ヘクタールに、約100万本のヒマワリが咲きました。摩周湖農協畑作振興会が、国の中山間事業を活用し、景観緑肥として栽培しています。旧弟子屈飛行場跡地は、約2ヘクタールに約40万本が植えられ、観光客などが足を止めて見入っていました。

7月28日
清掃活動を通じて自然公園の美化意識を高める
パークボランティアが屈斜路湖畔清掃



川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている、摩周・屈斜路パークボランティアの皆さんが7月28日、屈斜路湖畔で清掃活動を行いました。環境省では、毎年8月の第1日曜日を「自然公園クリーンデー」とし、清掃活動を通じて自然公園の美化意識を高める取り組みを行っています。今回の活動は、その取り組みに基づいて行われたもので、町指定の天然記念物「マリゴケ」が多く見られる東岸の浜などでごみを拾い集めました。参加したボランティアの皆さんは「自分一人だけなら…と思ってごみを捨てるのはやめてほしい」と話していました。

7月28日
親子で木工に挑戦
林業多目的センターで夏休みトンカチ広場



町と町森林組合共催の木工教室「切ったたいて工作しよう～夏休みトンカチ広場～」が7月28日、林業多目的センターで行われました。子どもたちの夏休みの工作の参考にと開催されているもので、今年で17回目。建設現場に残った角材やベニヤ板などを活用して、巣箱などを作る催しです。今年は木製のゲームを作るキットのあっせんも行われました。参加した小学生とその保護者など約40人は、思い思いの作品作りに熱中していました。